

財団法人千葉県観光公社

平成 21 年度事業報告

I 事業概要

当公社は、県内の観光・余暇利用振興事業の推進を図り、もって公共の福祉の向上に寄与することを目的として、現在、千葉県から指定管理者として指定を受け、国民宿舎サンライズ九十九里を㈱休暇村サービスと共同で、千葉ポートパークを林造園土木㈱と共同で、内浦山県民の森・館山野鳥の森を管理運営している。

平成 21 年度から新たに（財）千葉県職員互助会から新港運動公園の管理を受託している。

平成 21 年度は、清和県民の森の一事業を失ったことに加えて、一昨年のリーマンショックを契機とした 100 年に一度といわれる景気低迷やその後のデフレ経済さらに新型インフルエンザ流行によるキャンセルの発生などの影響があり、非常に厳しい経営状況となったところであるが、新しい企画商品の開発や経費の見直しをはかり、最終的に公社全体の収益は前年対比では減収となったが、当期純利益では約 1,740 千円多い、約 13,000 千円となった。

II 事業の実施状況

1 観光レクリエーション施設の管理運営事業（宿泊施設の利用状況、事業収入）

（サンライズ九十九里、千葉ポートパーク等）

21 年度の観光レクリエーション施設における利用者数は、前年度に比べ 7,555 人多い 295,447 人であった。

事業収入は、前年度に比べ 61,427 千円少ない、1,176,253 千円となった。

千葉ポートパークの受託料収入の減は、共同管理者の林造園土木㈱分を直接振込むことにより当社の収入に計上されないことによるものである。

○サンライズ九十九里

サンライズ九十九里の利用者数が、4 月から過去 10 年平均に比べて、毎月 5% 前後の減という状況が続き、後半も更なる落ち込みも予想されたので、利用者数を回復するため、新聞広告や駅頭におけるビラ配りなど、役職員一丸となって取り組んだ。

さらに、季節ごとのプランに加え、東京駅からの直通バスを利用した往復バス代込みの楽・得バスプランの投入やタオルと歯ブラシ

を持参した利用者に対して、料金を割り引くエコ割などの収入増加策の実施、食材の仕入価格の見直しなどによる経費の削減に取り組んだ結果、2月・3月は過去最高の宿泊者数になるなど最終宿泊者数は、76,168人となった。

事業収入は前年度に比べ43,510千円減の1,152,535千円となった。

○千葉ポートパーク等

千葉ポートパークの利用人員は減員となったが、新港運動公園の利用人員の加算により91,824名となった。

○観光レクリエーション施設の利用状況

(単位：人)

区 分	21年度	20年度	比 較
宿泊者（サンライズ）	76,168	78,632	▲2,464
休憩会議（サンライズ）	127,455	125,580	1,875
利用人員（千葉ポートパーク等）	91,824	83,680	8,144
利用者計	295,447	287,892	7,555

○観光レクリエーション施設の事業収入

(単位：千円)

区 分	21年度	20年度	比 較
単独収入	1,159,086	1,202,918	▲43,832
サンライズ	1,152,535	1,196,045	▲43,510
ポートパーク等	6,551	6,873	▲322
受託料収入	17,167	34,762	▲25,915
ポートパーク等	17,167	34,762	▲25,915
事業収入計	1,176,253	1,237,680	▲61,427
サンライズ	1,152,535	1,196,045	▲43,510
ポートパーク等	23,718	41,635	▲17,917

2 県民の森施設の管理運営事業（入園者・施設の利用状況、事業収入）

（清和県民の森、内浦山県民の森、館山野鳥の森）

21年度の県民の森3施設については、4月から11月までの8ヶ月間を千葉県の委託管理のもとに管理運営をおこない、平成21年12月から内浦山県民の森と館山野鳥の森の指定管理者として指定された。

入園者総数は、清和県民の森が11月までの営業となったことにより、前年度に比べ96,428人少ない540,192人であり、施設利用者数は、前年度に比べ2,853人少ない67,591人であった。

事業収入は、前年度に比べ48,408千円減少し、149,113千円となった。

○清和県民の森

21年度の清和県民の森の入園者数は、前年度に比べ102,540人少ない、277,200人となり、事業収入は、前年度に比べ28,057千円少ない、39,041千円となった。

○内浦山県民の森

21年度の内浦山県民の森の入園者数は、前年度並みの181,742人となり、事業収入は、前年度に比べ14,194千円減少し、92,786千円となった。

11月までは、千葉県の委託管理のもとに管理運営をおこなっていたため、受託料は増額となったが、施設使用料を千葉県に納めたため単独収入は減額となった。

○館山野鳥の森

21年度の館山野鳥の森の入園者数は、前年度に比べ6,095人多い81,250人となり、前年度に比べ受託料が6,261千円減額となり、事業収入は、17,286千円となった。

○県民の森施設の利用状況

(単位：人)

区 分	21年度	20年度	比 較
入園者	540,192	636,620	▲ 96,428
清和	277,200	379,740	▲ 102,540
内浦山	181,742	181,725	17
館山野鳥	81,250	75,155	6,095
施設利用者	67,591	70,444	▲ 2,853
清和	21,006	27,658	▲ 6,652
内浦山	46,585	42,786	3,799

※施設利用者は入園者の内数

○ 県民の森施設の事業収入

(単位：千円)

区 分	21 年度	20 年度	比 較
単独収入	37,609	87,529	▲ 49,920
清和	7,041	19,391	▲ 12,350
内浦山	28,334	66,008	▲ 37,674
館山野鳥	2,234	2,130	104
受託料収入	111,504	109,992	1,512
清和	32,000	47,707	▲ 15,707
内浦山	64,452	40,972	23,480
館山野鳥	15,052	21,313	▲ 6,261
事業収入計	149,113	197,521	▲ 48,408
清和	39,041	67,098	▲ 28,057
内浦山	92,786	106,980	▲ 14,194
館山野鳥	17,286	23,443	▲ 6,157

以上が、21年度の主な事業の実施状況であり、その結果、公社全体での当期純利益は約 13,000 千円であった。

○ 決算状況（概要）

(単位：円)

経常損益の部	金 額
営業収益	1,347,514,330
営業外収益	3,196,834
退職給付引当金取崩益	26,880,750
合 計	1,377,591,914

営業費用	1,364,405,934
営業外費用	53,045
合 計	1,364,458,979

経常利益	13,132,935
------	------------

特別損益の部	金 額
固定資産売却益	156,000
固定資産除却損	207,169
法人税等充当金	0

当期純利益	13,081,766
-------	------------